



このコーナーでは、職員の趣味や特技を紹介します。今号は病院長補佐（救急・災害担当）に寄稿いただきました。

趣味は子供と遊ぶこと



JRのイベントにて



バッタを怖がらない四男

私には子供が4人います。よりによって全員男子。上二人は中学生と小学生で、あまり相手にして貰えなくなりましたが、下二人はまだ幼稚園児と保育園児です。いっぱい遊んであげないといけない年齢です。職業上、休日といっても、当直業務や学会、講演など結構忙しく、時間を作るのも大変ですが、父親業も替えの利かない役割です。休日は短時間でもよいので、とにかく一緒に出掛けるようにしています。徳島城公園、市立こども図書館、吉野川河川敷、文化の森、大神子公園辺りはよく行きます。ママチャリに乗って徳島城公園周辺に行けば、城山探検やザリガニ捕り、電車の車両基地（写真：JRのイベントにて）など、子供が喜ぶシーンはたくさんあります。吉野川河川敷では、キャッチボールや凧揚げ、昆虫採取（写真：バッタを怖がらない四男）も出来ますし、川べりではカニや小魚などの生き物もたくさんいます。大神子公園のローラー滑り台や恐竜のオブジェは子供達の大のお気に入りですし、山の斜面には様々な遊具が点在し、冒険気分が味わえます。そのまま日峰山展望台まで登れば景色も最高。文化の森は、自然豊かで森林浴気分が楽しめる他、夜に懐中電灯を持ってカブトムシを捕りに行くのは今や夏の恒例行事です（写真：初めて捕まえたカブトムシ）。秋にはクヌギの大きなドングリも拾えます。また、市立こども図書館では、二週間に一回はたくさん絵本を借り、勤務がない日は毎晩子供達に絵本の読み聞かせをするのが私の日課です。その他にも、動物園、お花見や潮干狩り、魚釣り、子供向けイベントへの参加など、本当に素朴でありふれた事ばかり。それでも子供達はとても喜んでくれ、遊びに行った日は必ず絵日記を書いてくれます。絵日記を読むと、子供が感じた喜びや驚きが伝わってきて、とても感動してしまいます。「子供達が喜んでくれた。頑張ってよかった」。そんな気持ちにして貰える、まさに至福の時。これからは寒い季節になりますが、これまで以上に充実した絵日記を書いてもらえるよう、父親業も頑張っていく次第であります。

病院長補佐（救急・災害担当） 大藤 純



初めて捕まえたカブトムシ

このコーナーでは、病院でとりくんでいる様々な事業を紹介します。

総合診療部について



近年、高齢化や生活習慣の変化に伴って、複数の慢性疾患や疾病の多様化を持つ患者の増加がみられています。また、原因となる臓器がはっきりせず、どの診療科にかかればよいのか迷う事も少なくありません。総合診療部では、病院を受診する患者の年齢・性別や臓器、疾患の種類を限定せず、総合的に診療し、必要に応じて専門各科、地域の医療機関、介護・福祉・保健サービスなどと連携しながら一人一人のニーズに応じた基本的な医療を提供させていただいております。

平成29年6月7日より、外来診療棟3階において総合診療医・家庭医を中心とした医療チーム5名で月曜日から金曜日まで一日一診体制で外来診療を行っております。診療開始以来、原因不明の症状および検査データを持つ患者、疾患臓器を特定できない患者、あるいは複雑な要因の関与が推測される患者などが主な診療対象となっております。また、症状や検査データに加えて、患者の社会的背景、心のケアを含めた総合的視点から包括的、全人的医療を行っていくことを目指しております。各診療科におかれましては、そのような患者がおられましたらお気軽にご相談、ご紹介いただければ幸いです。

これまでの診療情報としましては、新規患者数の内訳では院外医療機関からの紹介が半数を占め、院内診療科からの紹介が4割、紹介状無しの飛び込みが1割という結果になっています。診察後、必要に応じて院内各診療科に紹介するケースもあり、診断確定後は院外医療機関への逆紹介も積極的に行い、特定機能病院としての医療連携の充実も目指しております。外来部門のみの診療科であり時間外診療は行っていないため、万一入院が必要な場合には院内各診療科に相談・依頼させていただくこともあると思いますが、その折はよろしく願いいたします。

総合診療部 部長 谷 憲治



NEWS・イベント大募集！

「Harmony」は、病院職員を対象に、院内情報の伝達や職員のコミュニケーションの活性化などを目的として発行しております。行事やイベントなどのNEWSや院内で周知してほしいTOPICSなどがありましたら、どんどん病院総務課広報・企画係（bsoumuss1@tokushima-u.ac.jp）までお寄せください。また、「Harmony」で取り上げたら良いと思うテーマなど、ご意見・ご提案もお待ちしております。



病院新採用職員の紹介

循環器内科 数藤久美子医員



右側が数藤医員

こんにちは。循環器内科の数藤（すとう、旧姓：今田）久美子と申します。 徳島大学卒業後は大学病院、鳴門病院、四国こどもとおとなの医療センターでの勤務を経て、3年ぶりに大学病院で働かせてもらっています。

仕事は心臓カテーテル検査・治療、心臓エコー、トレッドミルを始めとした様々な検査と入院管理などの業務を行っています。知識や経験もまだ浅く、佐田先生をはじめ多くの先生方にご指導いただきながら日々過ごしております。少しでも早く一人前の医師として成長し、誰かの力になれるよう精進していきます。

プライベートでは一昨年11月に結婚をしました。夫とは趣味である旅行が縁で結ばれました。長期で休みが取れば海外旅行、週末には温泉でリフレッシュしています。また、その土地での甘い物を食べるのが大好きです。

放射線科 小濱祐樹医員



平成24年に徳島大学を卒業後、和歌山日赤で1年、徳島大学病院で1年の研修を経て、平成26年から徳島大学病院放射線科に入局し現在に至ります。平成29年8月に専門医を取得し、嬉しい反面プレッシャーも感じています。現在は放射線科診断医として、主に画像(CT、MRI、エコー等)の読影を行っており、頭痛・肩凝り・眼精疲労に耐えつつも充実した日々を送っています。

大学時は準硬式野球部に所属し、いまでも時折放射線技師さんたちとすることもあります。ただ野球のみならず、趣味は比較的多い方(?)で、アクアリウム、マジック、アカペラなど色々やってきました。いまでも同窓会や忘年会などに呼ばれ、20分程度の(一応本格的な)マジックショーを行ったりもしています。何か出し物にお困りの際は、どうぞ放射線科小濱(おばま)までご一報下さい。

矯正歯科 岡彰子医員



矯正歯科の大学院を修了し、平成29年度より医員として採用頂きました岡彰子と申します。大学院では日中は診療、診療後は実験と体力的にはかなりハードでしたが、多くの先生にご指導頂き、なんとか修了まで辿りつけました。4月からは少し肩の荷が下り、矯正歯科診療と後輩大学院生の実験の指導や、学部学生の実習に参加させて頂いています。趣味は旅行で、一昨年は沖縄で念願であったスキューバダイビングのライセンスを取得しました。四国にもダイビングスポットがあるそうなのでいつか潜ってみたいです。肩の荷が下りたといっても、臨床では来年度の日本矯正歯科学会認定医取得を目指しており、そろそろ準備を始めようと思っているところです。これからも地域の方の素敵な口元・笑顔づくりに微力ながら貢献できるようスキルアップしていきたいと思います。

東病棟6階 富永真礼看護師



私が所属する東病棟6階は、食道・乳腺甲状腺外科、呼吸器外科、循環器内科の混合病棟です。手術へ臨む患者さんやそのご家族が、安心して手術や治療が受けられるよう、身体的側面だけでなく心理的にもサポートできるよう努めています。また、化学療法や放射線治療をされる患者さんや、循環器内科での心臓カテーテル検査・治療等で入院される患者さんの看護も提供しています。このような病棟で、様々な疾患や治療の幅広い知識や技術が必要となりますが、とてもやりがいのある病棟であると感じています。

充実した日々の中、仕事だけではなく趣味である旅行の時間も大切にしています。その土地の人々と出会い、食や文化を楽しむことができます。国内・海外問わず様々な人と出会い、コミュニケーションをとることは自分という人間を成長させてくれるとともに、新たな発見をすることができます。

コミュニケーションは、仕事をする上でも大切な能力の一つです。専門的な知識や正確な看護技術を身に付けることはもちろんですが、趣味の中で培った能力を生かしながら患者さんやそのご家族に寄り添ったケアを提供できる、優しさや思いやりのある看護師を目標に日々精進しています。

薬剤部 山川裕介薬剤師



平成29年4月より薬剤部で勤務しております、薬剤師の山川裕介と申します。

現在は主に注射剤調製室にて化学療法の薬剤の調製を行っております。調製室では入院・外来両方の注射の抗がん剤を用意していますが、抗がん剤は毒性が強いので、オーダーの確認や調製も慎重に行っております。患者さんが安心して快適に治療を受けられるように努めて参ります。

私は出身が九州で、徳島に住むのも初めてなので時間があるときにはぶらぶらと散策しています。また、絵画を趣味としているので風景などを絵にしてみたいと考えています。

まだまだ至らぬ点が多々ありますが、先輩方からご指導を頂きながら、専門的な知識・技能をしっかりと身につけ、薬剤師として精進していきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

診療支援部 多田智紀臨床検査技師



はじめまして。今年度より臨床検査技師として検査部に配属になりました、多田智紀と申します。業務は尿定性・沈査検査等のいわゆる「一般検査」といわれる検査を主に担当しています。大学病院では様々な検体が提出されますので、日々勉強です。そんな私の休日は自宅で映画鑑賞をしています。そろそろ冬になりますので、「おとなり」が見たくなる季節です。趣味は旅行とスポーツです。特にスノーボードは15年のキャリアになるので滑るだけなら自信があります。これからの仕事への意気込みとして、まず一般検査では鏡検による尿や体腔液中の異型細胞を見逃さないようにしていきたいと考えています。そして素早く正確な結果を臨床に返せるよう勉強し、知識を深めていきたいです。また、今後は一般検査だけではなく他の検査についても勉強し、幅広い知識を持った臨床検査技師として成長したいと考えています。これからどうぞよろしくお願い致します。